

新潟大学教育研究院自然科学系教員（生物有機化学分野・助教）公募要項

1. 所 属 教育研究院自然科学系 農学系列
2. 担当学部・研究科 農学部 農学科 応用生命科学プログラム
大学院自然科学研究科 生命・食料科学専攻
3. 担当予定科目 学部：有機化学（分担），有機化学実験（分担），応用生命科学実験（分担），応用生命科学演習Ⅰ・Ⅱ（分担），卒業論文Ⅰ・Ⅱなど
大学院：生命・食料科学セミナーAⅠ・AⅡ（分担）など
4. 職種・人員 助教1名（常勤，任期なし）
5. 採用予定期 平成31年1月1日～平成31年4月1日の内の可能な限り早い日
6. 給与 国立大学法人新潟大学職員給与規程による。
7. 職務内容・条件
 - (1)農学部および大学院自然科学研究科において、生物有機化学（ケミカルバイオロジー）に関する教育と研究を行う。学部と大学院の教育に情熱をもって取組むことができること。
 - (2)大学・大学院・学部・プログラム等の運営に積極的に取り組むこと。
 - (3)産学連携、地域連携、国際連携に意欲的に取り組むこと。
8. 応募資格
 - (1)博士の学位を有すること。なお、着任時までに取得見込みの者を含む。
 - (2)生物有機化学（ケミカルバイオロジー）の関連分野において優れた研究業績があり、実験や専門分野の講義を担当できること。
9. 応募書類（各1部）
 - (1)履歴書（様式は特に定めない）。ただし、連絡先、大学入学以降の学歴、職歴、賞罰を記入し、顔写真を貼付すること。
 - (2)教育研究業績書（所定の様式）。著書、学位論文、研究論文[査読付き]、その他研究論文[査読無し]、特許、最近5年間の学会発表[国際・国内学会に区分]に区分。
※教育研究業績書の様式は下記URLよりダウンロード願います。
<https://www.niigata-u.ac.jp/university/recruit/faculty-members/>
 - (3)主要論文5編各2部（論文は別刷りないしコピー）。
 - (4)外部資金の獲得状況（科研費、その他競争的資金、受託研究など）についてのリスト（最近10年間分）。「代表・分担の別と代表者名、金額（分担の場合は分担額）を明記」
 - (5)これまでの教育研究概要、および採用された場合の教育・研究の抱負について、2,000字程度にまとめたもの。
 - (6)産学連携、地域連携、国際連携に関わる実績がある場合には、その内容についてまとめたもの。
 - (7)応募者について照会可能な2名の方の氏名と連絡先を明記。
(備考)応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報は、「独立行政法人等の所有する個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理します。
10. 応募の締切 平成30年9月7日（金）必着
11. 選考方法 応募書類による選考を行い、最終選考で面接を行う（旅費は支給しません）。
12. 提出書類の送付及び問い合わせ先
 - (1)送付先 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学自然科学系総務課学系庶務係
(封筒の表に「農学系列、生物有機化学分野教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留郵便で送付のこと)
 - (2)問い合わせ先 新潟大学農学部 教授 原田直樹
TEL/FAX 025-262-6636/6854, E-mail: naharada@agr.niigata-u.ac.jp

※新潟大学農学部・大学院自然科学研究科の活動内容については、それぞれのホームページ

(<https://www.agr.niigata-u.ac.jp>および<https://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/index.html>)を参照して下さい。

※新潟大学では、男女共同参画推進室を設置し男女共同参画の視点に立った教育・研究・就業環境の整備を推進しております。教員公募においても女性の積極的な応募を歓迎します（男女共同参画推進室URL <http://www.niigata-u.ac.jp/geo/index.html>）。

※新潟大学では、キャンパス・グローバリゼイションの実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しています。教員公募においても、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。